

講演会「第16回 なるほど! なっとく!! 高次脳機能障害」 たくさんの方のご参加を得て、無事終了いたしました!

平成26年2月9日、朝日ホール（名古屋市中区）にて開催された「第16回なるほど! なっとく!! 高次脳機能障害」は、208名もの多数のご参加をいただき、無事終了することができました。

当日は休日にもかかわらず遠方からもご参加いただき、あらためてお礼申し上げます。

今回は、医療から地域へどのようにして切れ目なく結び付けていくか、またその重要性を東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科教授の渡邊修先生をお招きして『地域と結ぶリハビリテーション』をテーマに開催いたしました。

第1部で、渡邊先生から高次脳機能障害を様々な角度から見た熱意あふれるお話をいただき、続く第2部で当事者家族のお二人から、受傷後から今日に至るまでの家族が直面する困惑、不安、そして前向きな生活を取り戻すまでを渡邊先生との対談形式で生の声で語っていただき、時には会場からのご意見、体験談もお聞きしながら、医療と福祉サービス機関、そして行政や地域との連携したリハビリテーションの重要性を共有することができました。アンケートにも「皆で考え発表できる会場の雰囲気素晴らしかった」というコメントが多く、参加された多くの方々も同様に実感されたことと思います。

来年度以降も、高次脳機能障害にお悩みのご本人、周囲の方たちとのかかわりの中から課題の解決や関心事をテーマに取り上げ講演会を開催してまいりたいと存じます。

各方面でご活躍の208名の皆様が多忙のなかで来場頂けましたことへの感謝の気持ちと、「なるほど! なっとく!! 高次脳機能障害」講演会後援名義使用へのご理解ご協力を賜りました愛知県はじめ名古屋市、豊橋市、岡崎市、豊川市、蒲郡市、並びに愛知県作業療法士会、愛知県言語聴覚士会、朝日新聞厚生文化事業団関係者の皆様に、改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

平成26年2月11日

特定非営利活動法人高次脳機能障害者支援「笑い太鼓」

理事長 河合秀矩



参加者内訳	人数(名)
医療関係者	24
福祉事業関係者	82
学生	2
高次脳機能障害者当事者とその家族	83
行政関係者	4
教育機関従事者	4
その他	9
合計	208